



# まちがど トピックス



## ■雨に濡れた石畳に映る、幻想的な 1000 基の<sup>あんどん</sup>行灯

8月29日、富田林寺内町周辺で、じないまち四季物語2015「夏」第12回富田林寺内町<sup>とうろう</sup>燈路が開催されました。当日、夕方に降った雨の影響で路面が濡れ、石畳に映る行灯は、いつも以上に幻想的な表情になりました。

当日は、浄谷寺での講談師による妖怪ばなしの一席や、旧<sup>ほんりのほる</sup>万里春酒蔵では地元出身のギタリストによるブルースライブも開催され、来場者は、ゆく夏の夜を惜しむかのように楽しんでいました。

## ■第九の演奏で国際親善



8月29日、すばるホールで、「ドイツ青少年オーケストラとの国際親善第九演奏会」が開催されました。当日は、ドイツから来日した青少年オーケストラの演奏に乗せて、市内で活動する幅広い年齢層で構成された約120人が、第九を歌いました。フィナーレの第4楽章では、大迫力の合唱で観客を魅了し、演奏終了後には、いつまでも拍手が鳴りやまないなど、会場は満足感いっぱい笑顔であふれていました。

## ■新聞でできた全長8<sup>ねん</sup>の巨人

8月23日、中央公民館で、「夏休みアートなワークショップ～シンブンの巨人をつくろう!～」が開催されました。当日は、新聞紙を思い思いの形に丸めたり、色とりどりのクラフトテープで貼り合わせたりしながら、ブルーシートいっぱい、全長約8<sup>ねん</sup>の巨人をみんなで協力して作りました。参加した子どもたちは「新聞紙の感触が柔らかくて気持ちよかった。大きな巨人ができ、うれしかった」と笑顔を見せていました。



## 写真とともに見る8月～9月のできごと



## ■理科の実験、おもしろいな～

8月20日、児童館で、「夏休みわくわく教室」が開催されました。これは、身近な材料を使って、子どもたちに理科の楽しさを体験してもらおうと企画されたもの。当日は、重いものを簡単に持ち上げる実験にチャレンジ。空気を入れたポリ袋の上に、水を入れた2リットルペットボトル6本を置き、ストローで息を吹き込むと、軽々と持ち上がりました。これにはみんなビックリし、あちこちから大きな歓声が上がりました。

## ■秋の収穫を満喫！

9月5日、農業公園サバーファームで、サツマイモが収穫の時期を迎え、たくさんの家族連れが芋掘りを楽しんでいました。サツマイモを傷つけないように少しずつ土を掘っていき、土の中から大きなサツマイモが顔を出すと子どもたちからは「すごく大きい！」と歓声が上がっていました。サバーファームでは10月下旬まで芋掘りが楽しめますので、ぜひ、ご家族やご友人などとお越しください。



## ■人と人がつながる図書館

9月1日、きらめきファクトリーで、「まちライブラリー」が始まりました。「まちライブラリー」とは、心を動かされた本などにメッセージを書いて寄贈していただき、次にその本を読んだ人もメッセージを書いていく、本を通じて人がつながるコミュニケーション図書館のことです。さまざまな本が置いてありますので、皆さんぜひ、お越しください。また、寄贈していただける本も募集しています。

## ■一連の救急活動を実演

9月6日、エコー・ロゼで、市消防本部発足50周年を記念して「消防フェア」が開催されました。

「買い物中に、突然心肺停止状態になった」との想定で、救急車の要請方法からAEDの使用、心肺蘇生、救急隊到着後の救命救急隊員による処置など一連の救急活動を実演しました。

見学に訪れた人たちは、本番さながらの隊員の機敏な処置を真剣に見入っていました。

